

令和3年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

TDM施策の推進

令和4年2月22日(火)

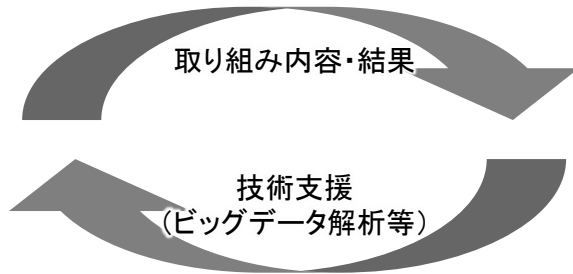
1. 地域検討ワーキンググループの設立

- 滋賀県と連携して、草津市・彦根市を対象に、今後の追加項目の検討や関係機関との調整の場など施策の推進に向けて、ワーキンググループを設立した。
- 事務局では、交通ビッグデータを活用した旅行速度や経路の集計などの現状把握・効果検証の「技術支援」を行い、施策の推進を図る。

滋賀県渋滞
対策協議会

草津地域検討ワーキンググループ

TDM施策
(南草津駅周辺
交通対策検討会)



事務局

< 議事概要 >

- 草津市では、南草津駅前ロータリーの混雑緩和や公共交通の定時制の確保に向けた社会実験を実施し、その結果や今後の実施内容等を検討する「南草津駅周辺交通対策検討会」を今年度2回開催することを報告した。
- 事務局では、南草津駅周辺の渋滞発生状況を把握するために、ETC2.0プローブデータの分析を活用し、南草津駅周辺で天候やコロナ等の時期に応じた渋滞発生状況(旅行速度)の分析結果を提供する。
- 「南草津駅周辺交通対策検討会」の結果を踏まえ、今後どのようにTDM施策を推進していくか、引き続き協議する。

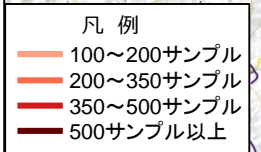
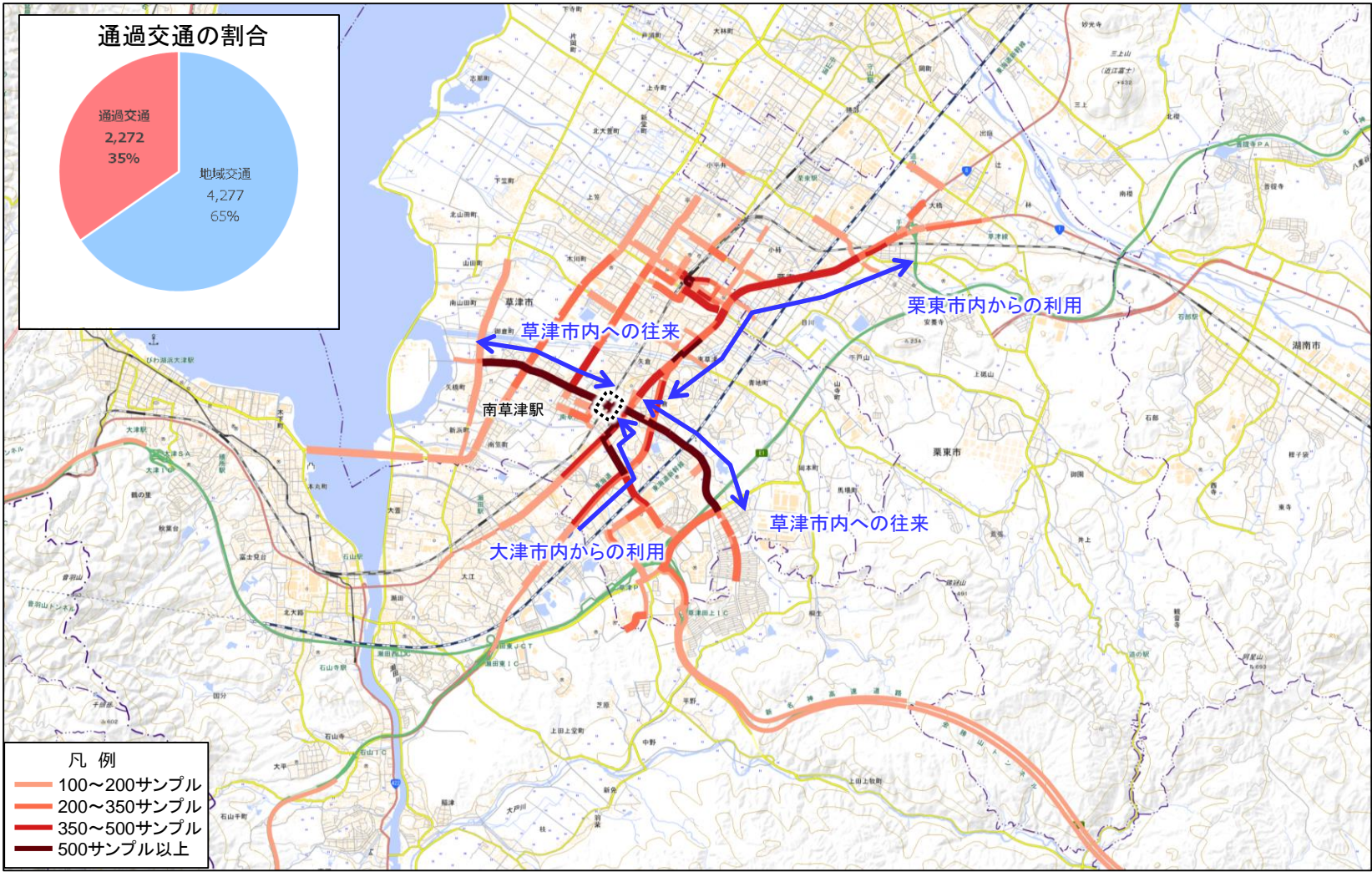
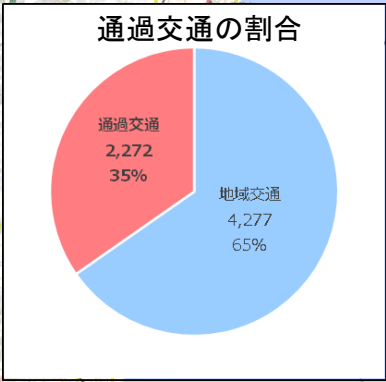
※) 令和3年10月18日協議により設立

2. 交通ビッグデータによる技術支援

■南草津駅利用車両の走行経路

○南草津駅周辺の旅行速度や駅周辺の路線を利用する通過交通の割合・走行経路、駅を利用する車両の走行経路を整理し、現況の旅行速度状況や駅の利用状況を面的に確認した。

○南草津駅を利用した車両について、地域交通の往来が多く大凡6割を超えている状況である。



※) ETC2.0プローブデータを基に集計した結果
 ・集計期間: 2020年9月～11月 の平日・朝ピーク(7:00～9:00)
 ※) 左図について、サンプル数が少ない(100サンプル未満)路線は非表示

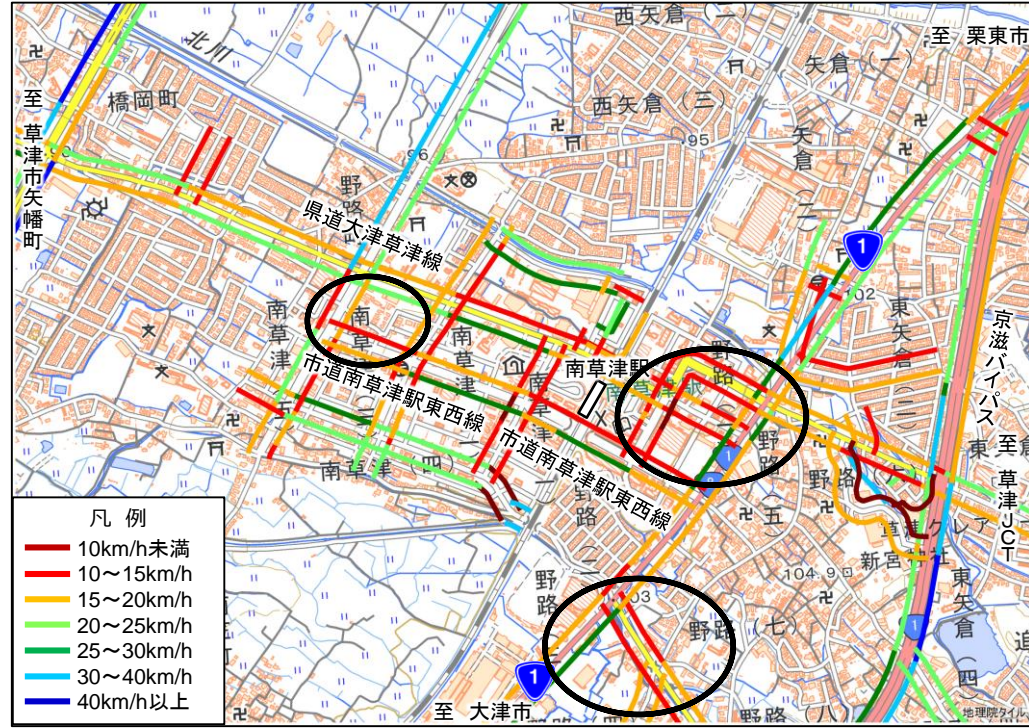
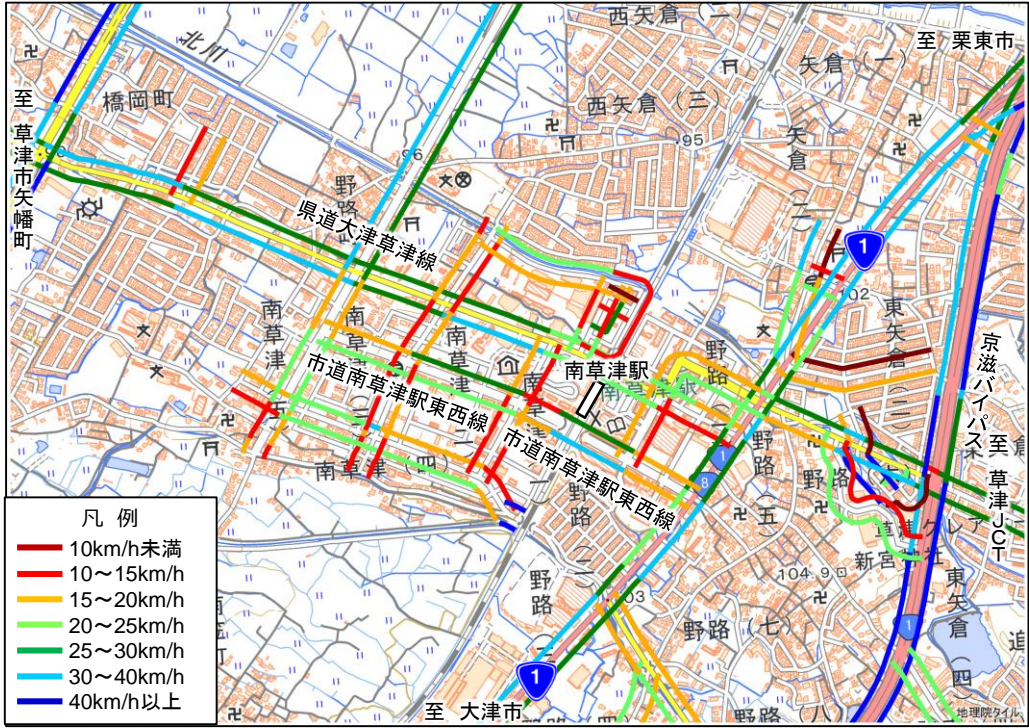
2. 交通ビッグデータによる技術支援

■ 旅行速度状況(天候による比較)

○南草津駅周辺の旅行速度を整理し、現況の旅行速度状況を面的に確認した。
 ○晴天時、雨天時ともに駅周辺は混雑している状況が確認できるが、雨天日は自家用車を用いて、駅へ向かう車も増える傾向があり、速度が遅くなる傾向が出ていると思われる。
 ○雨天時は晴天時よりも立命館大学行きのバスの需要も高くなっており、混雑している状況。

《晴天日》

《雨天日》



※)ETC2.0プローブデータを基に集計した結果
 ・集計期間:コロナ前 2019年4月~2020年3月 の平日・晴天日・雨天日・朝ピーク(7:00~9:00)

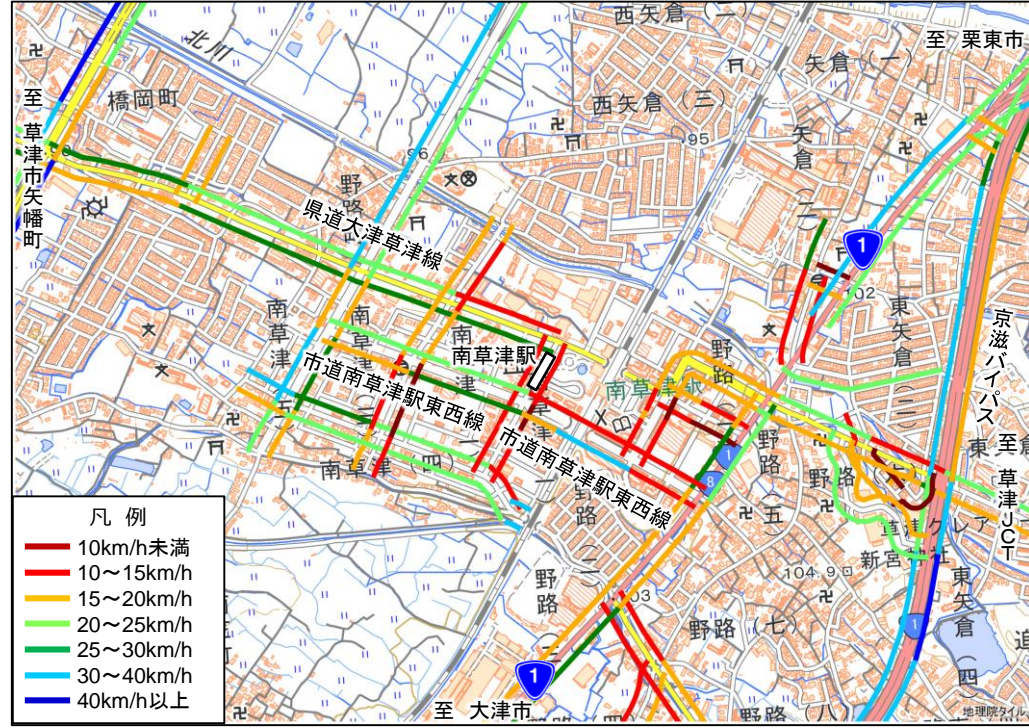
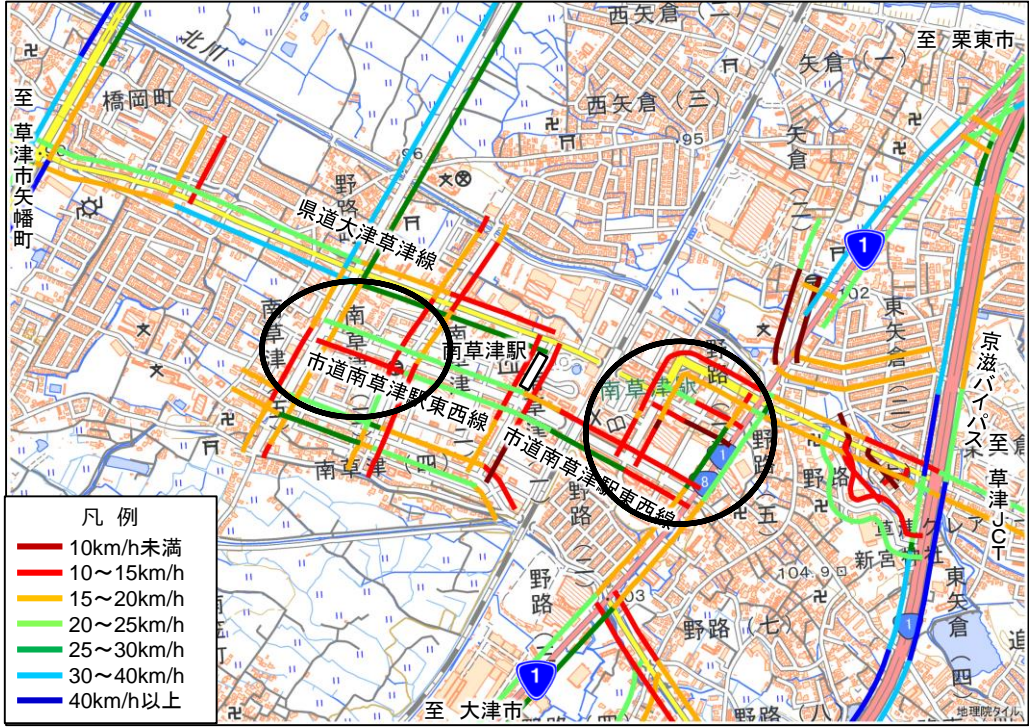
2. 交通ビッグデータによる技術支援

■ 旅行速度状況(年度当初・年度当初以外の比較(天候影響なし))

- 南草津駅周辺の旅行速度は年度当初・年度当初以外の期間でともに旅行速度が低く、特に、駅を利用する際に走行する2路線(市道南草津駅東西線・市道南草津駅中央線)で旅行速度が低い。
- これらは時期柄、立命館大学行きバスの需要が高くなった結果、混雑しているものと推測、大型バスなので市道側は道幅も狭く信号現示のサイクルも影響し、速度が上がっていない状況。
- 今後、本資料を草津市へ提供し、これらの課題からソフト的な対応策について引き続き検討を進める。

《年度当初》

《年度当初以外》



※)ETC2.0プローブデータを基に集計した結果
 ・集計期間: 年度当初 2019年4月
 年度当初以外 2019年6月 の平日・朝ピーク(7:00~9:00)

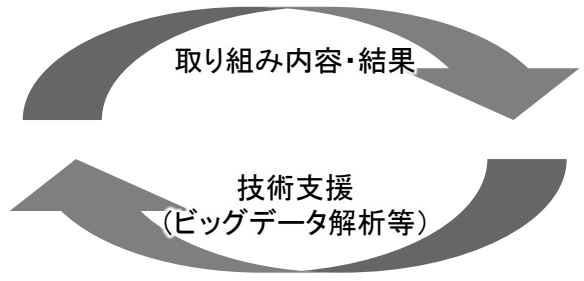
3. 地域検討ワーキンググループの設立

- 滋賀県と連携して、草津市・彦根市を対象に、今後の追加項目の検討や関係機関との調整の場など施策の推進に向けて、ワーキンググループを設立した。
- 事務局では、交通ビッグデータを活用した旅行速度や経路の集計などの現状把握・効果検証の「技術支援」を行い、施策の推進を図る。

滋賀県渋滞
対策協議会

彦根地域検討ワーキンググループ

TDM施策
(彦根市パーク・アンド・
バスライド実施協議会)



事務局

<議事概要>

- 彦根市では、パーク・アンド・バスライドの社会実験を実施。今後恒久的に実施するために路線バスの対応を検討中であることや、社会実験の効果検証結果等を報告した。
- 事務局では、社会実験の必要性や今後の施策の展開をするために、ETC2.0プローブデータの分析を活用し、彦根ICや彦根城に発着する車両の走行経路や旅行速度等の分析結果を提供する。
- 今後のTDM施策に向けて、引き続き協議する。

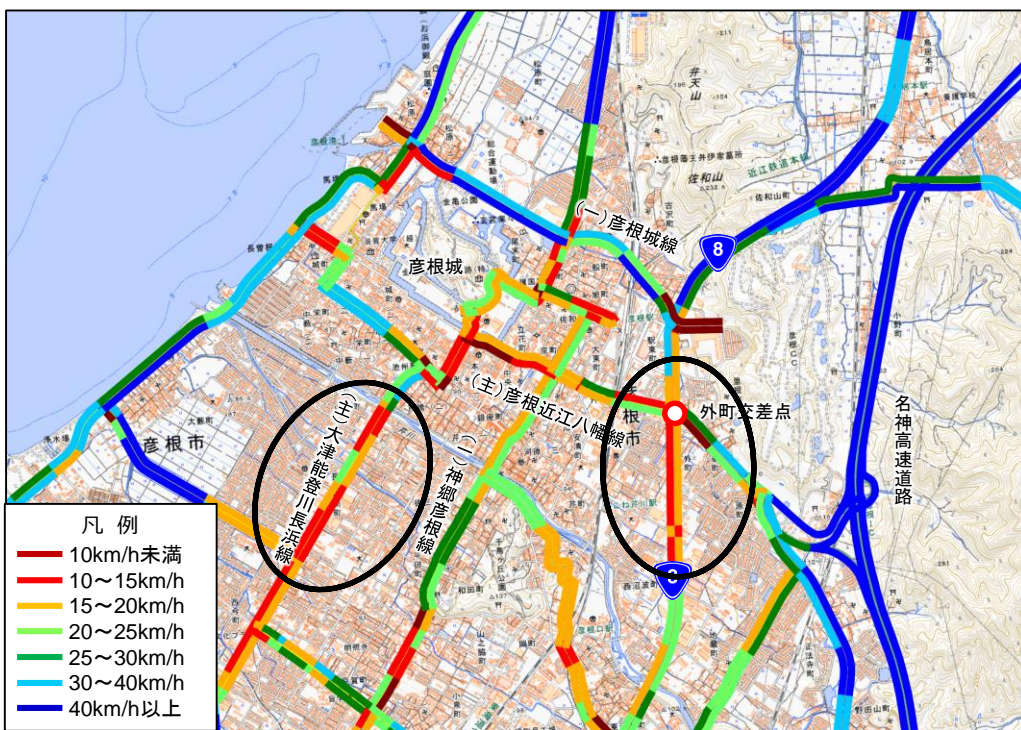
※) 令和3年10月21日協議により設立

4. 交通ビッグデータによる技術支援

■彦根市市街地の旅行速度

- 彦根市市街地では、朝ピークが特に旅行速度が低いことがわかり、観光交通のみならず、地域交通についても、集中しており日常的に交通量が多いことがわかる。
- 地域交通は多くが国道8号、大津能登川長浜線を利用されている。

《朝ピーク》



《夕ピーク》



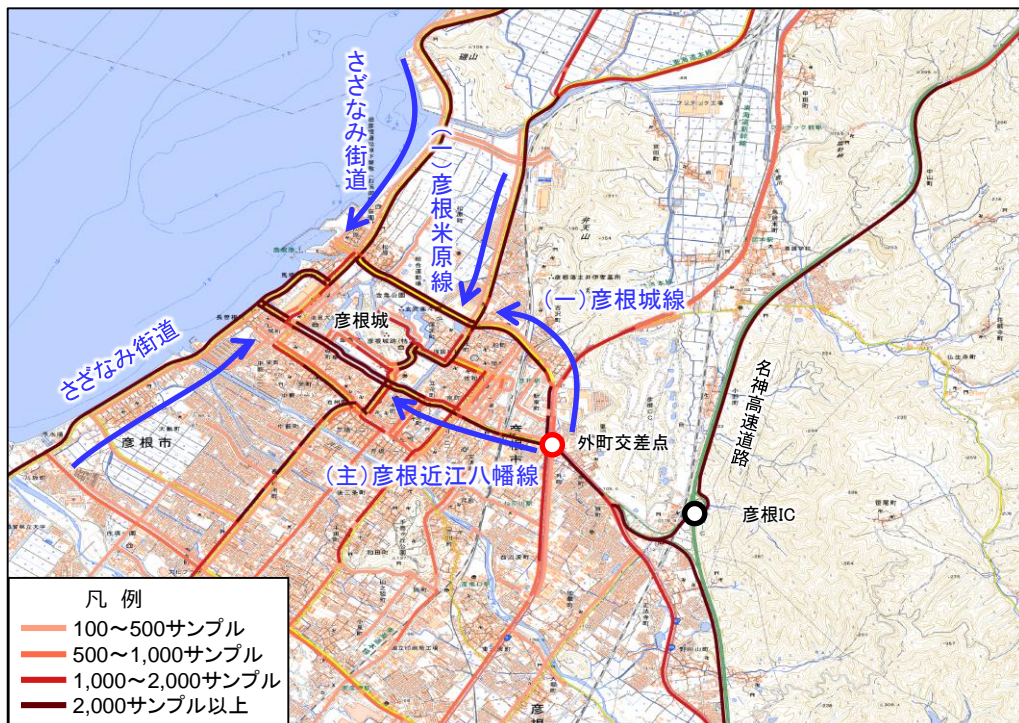
※)ETC2.0プローブデータを基に集計した結果
 ・集計期間：2020年4月～2021年3月
 の休日・朝ピーク(10:00～12:00)、夕ピーク(17:00～19:00)

4. 交通ビッグデータによる技術支援

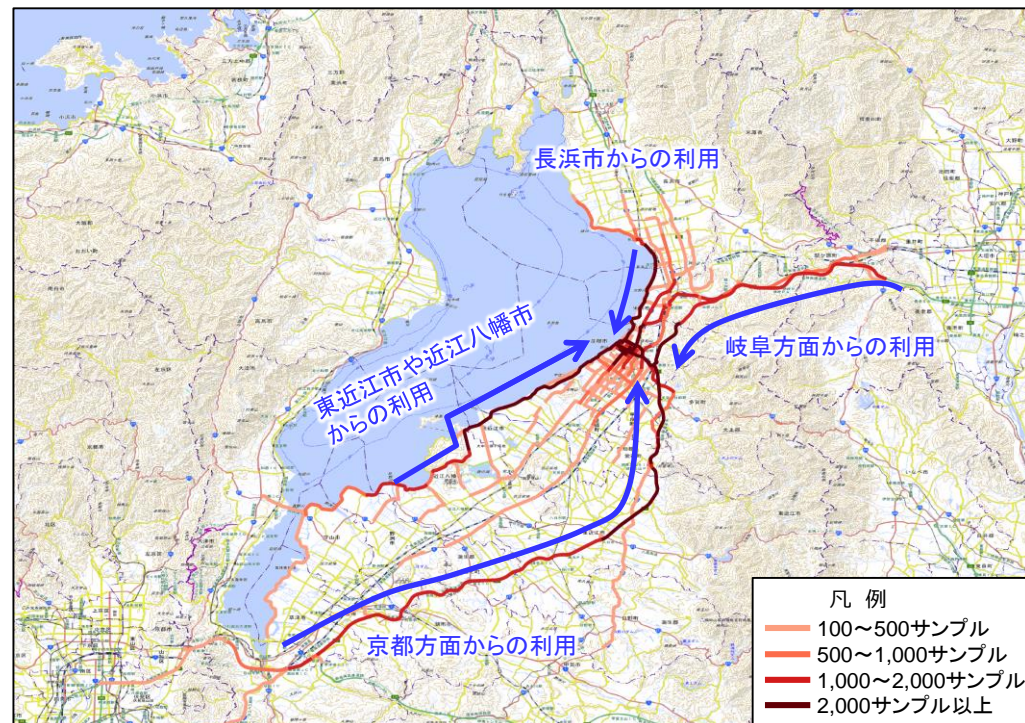
■彦根城着の走行経路

- 彦根城へ走行する車両について、彦根城周辺では(一)彦根城線、(主)彦根近江八幡線、(一)彦根米原線、さざなみ街道を利用する車両が多い。
- 滋賀県内からは長浜市や東近江市、近江八幡市、遠方からは岐阜や京都方面からの利用が多い状況。
- 今後、彦根城周辺の走行経路の分析結果を整理し、社会実験の必要性や今後のソフト対策について、引き続き検討を進めていく。

《拡大図》



《広域図》



※)ETC2.0プローブデータを基に集計した結果
 ・集計期間:2020年4月~2021年3月 の休日・昼間12時間(7:00~19:00)
 ※)上図について、サンプル数が少ない(100サンプル未満)路線は非表示